

嘉麻市社協だより

えがお

No.154

発行日/2018.12.1



緊張するよ～

みんなで心をひとつに
～みどり保育園 マーチング～

2018



上手に
できたかなあ

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751

FAX 0948-83-8005

<http://kama.syakyo.com>

✉ info@kama.syakyo.com

<https://www.facebook.com/kama.swc>

住み慣れた地域で暮らしていくために ～私たちが主役 5つの協議体～

10月19日(金)、夢サイトかほで平成30年度第2層協議体の全体会を開催し、39名の参加がありました。

交通体系の見直しについて



運転免許証を返納した後、買い物や通院に困るとの声が多く聞かれたことから、嘉麻市役所地域活性推進課の松岡守之さんと塚本明弘さんに、嘉麻市の交通体系について話してもらいました。牛隈に設置予定の総合バスステーションを中心に嘉麻市役所新庁舎や各地域の支所、病院、商業施設等を通る路線や事前に予約することで運行するデマンド型運行の導入、将来にわたり継続して運行ができるよう運賃の見直しなどが検討されているそうです。

先進地の取り組みから学ぶ

大分県にあるNPOつえ絆くらぶの河井昌猛かわい ますたかさんに、NPOつえ絆くらぶの取り組みについて教えてもらいました。河井さんは、平成24年に日田市地域おこし協力隊として大阪府から日田市に來られました。地域を回る中で、上津江・中津江地域の高齢化や過疎化に伴って深刻化していく日常生活の困りごとに気づきました。そこで、住民が互いに協力し合い解決する仕組みづくりを目指して、中津江地域の有志や市職員、社協職員と検討会を立ち上げ、「お互いに支え合う地域・みんなが元気な地域・自立した地域」をスローガンに、NPOつえ絆くらぶを設立されています。



依頼者とボランティアさんをつなぐ支え合いの仕組みは、地域通貨「チョイてご券」を介したやり取りからスタートしましたが、事務処理に時間と労力を要することから、本来の困りごとの解決に専念するため、現在は現金でやり取りしているそうです。

また、地元のレストランの協力を得て、高齢者が作った自家製野菜を買い取る「縁事業」にも取り組まれています。ボランティアさんが週1回巡回し回収した野菜を、「おすそわけ野菜レストラン松原」が食材として買い取り、提供しています。

自分が作った野菜が小遣いになり、更には、誰かに喜んでもらえることで生産者に張り合いができました。また、野菜を集める際に世間話をする中で、自然な形で困りごとの聞き取りができ、思いがけない形で介護予防につながっているそうです。

河井さんは、活動を続けるためにはみんなで共通の目標を持ち、できることから始め、楽しく続けることが大切だと話されました。

参加者からの声



「まずは、できることから楽しく始めたい」、「嘉麻市も高齢者が多いので、みんなで一緒になって地域づくりを進めたい」との意見がありました。協議体では、地域のみなさんが主役となって、困りごとを地域の力で解決できる仕組みづくりを目指しています。今回の学びをみなさんと共有し、各校区の実情に合わせた仕組みを作っていきたいと思います。

第5回生活困窮者自立支援 全国研究交流大会

2018年11月10日(土)



11月10日・11
 日の2日間、熊本
 県熊本市で開催
 された第5回生活
 困窮者自立支援
 全国研究交流大
 会に、職員2名で
 参加しました。

1日目は、1,000人以上が一堂に会し、講演会やパ
 ネラーによる実践報告が行われました。

生活困窮者自立支援法に基本理念と定義が明確
 化され、地域共生社会の実現に向けた包括的支援体
 制の中心的な役割が求められています。支援者のス
 キル不足で相談を断ることなく、他職種や地域とつな
 がることで出口を広げていく努力をすることが大切
 だと感じました。

2日目は9つの分科会に分かれて、テーマごとに学
 びました。

熊本県では全市町村で自立相談支援窓口が設置
 され、任意事業の実施率も100%です。熊本地震発
 生後は事業を拡充して被災による生活困窮者への支
 援を進めています。

災害時でも実践できる平常時の取り組みについ
 て、考えていきたいと思えます。

飲料水を 届けました

～山口県の周防大島町
 社会福祉協議会～



山口県大島郡周防大島町は、10月22
 日未明に本州を結ぶ唯一の橋である大
 島大橋に貨物船が衝突しました。広域水
 道の送水管や通信ケーブルなどが破断
 し、断水が続いていると聞き、11月2日に
 本会職員2名が伺いました。

7月の西日本豪雨災害により嘉麻市
 でも土砂災害や床上浸水などが発生し、
 嘉麻市災害ボランティアセンターを開
 設しました。このたび、支援物資として届
 けられた飲料水の一部を周防大島町社
 会福祉協議会へ届けました。

在宅介護者の集い

在宅で介護をされている方々が、いろんな情報交換を
 つづけて、楽しくリフレッシュしています。

● 平成30年12月13日(木)

● ふれあいハウスにて(上山田502番地6)

● 平成31年1月10日(木)

● 稲築住民センターにて(岩崎1143番地3)

※時間は13時～15時までです。

嘉麻市認知症家族の会

認知症の方を介護しているご家族が集まり、お互い
 の体験や情報交換をしています。

● 平成30年12月22日(土)

● 平成31年1月26日(土)

● ふれあいハウスにて(上山田502番地6)

※時間は13時30分～15時までです。

ひきこもり家族の集い

ひきこもりの家族を持たれている方々と、いろんな悩
 みを話したり、情報交換をしています。

● 平成30年12月20日(木)

● 平成31年1月24日(木)

フリースペース

家から一歩外に出て自由に過ごせる居場所です。特に
 プログラムはありません。

毎週木曜日 13時30分～15時30分

● 平成30年12月6日(木)、13日(木)、20日(木)

● 平成31年1月10日(木)、17日(木)、24日(木)

※ひきこもり家族の会、フリースペースの開催場所は寄ってこ
 ハウスで、時間は13時30分～15時30分です。日時等が変更にな
 ることもありますので、事前にご連絡ください。

《お問い合わせ先》

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-1075
 E-mail:tiliki@kama.syakyo.com



ココロとカラダのバランスを整える 〜琴平ヨガサークル〜

琴平公民館では、毎週土曜日の17時からヨガ教室が開かれています。

ヨガには自然治癒力を高め、病気から体を守る効果があるそうです。参加



者の体調に合

わせて、その

日のポーズが

決まり、腹式

呼吸をしながら

らゆつくり体を動かすと次第にぽか

ぽかし、しっとり汗をかき始めま

す。関節の可動域が広がり、血流が良

くなるのを体験しました。

みなさんも肩こりや腰痛の改善、

疲労回復の効果を実感されているよ

うです。「週1回みなさんと話すのが

楽しみです。翌日はすっきり目が覚

めますよ。土曜日が待ち遠しいです」

と、笑顔で話されました。



和太鼓で地域をえがおに

稲築志耕館高校 郷土芸能部

稲築志耕館高校の郷土芸能部「凌駕^{りょうが}」は、部員25名で和太鼓の演奏活動をしています。

地域の方から、和太鼓を通して地域活動をしている「凌駕」についてお便りをもらい、高校を訪ねました。

そこで、先生から「嘉麻ふれあいまつり2018」に向けて練習に励んでいると聞き、学校におじやましました。

演奏する曲のほとんどは、初代の部員が作ったオリジナルの曲で、楽譜はなく、先輩達の動きを見ながら、体でリズムを覚えていきます。20数年間そうして後輩達に受け継がれています。

入部したきっかけを聞くと、「先輩が演奏している姿を見て憧れた」「人と違うことがしたかった」と話されました。

おしゃべりを楽しむ和気あいあいとした雰囲気、バチを持った瞬間に、真剣な表情に変わります。力強いかけ声とともに和太鼓の音が響き渡っていました。



嘉麻トレッキング倶楽部

〜70歳の山登り日記〜



指して黙々と進んでいき、お昼前頃に最高峰に到達しました。天気も良く、頂上からの展望は素晴らしいも

私は、65歳で会社勤めを終えたのち「嘉麻トレッキング倶楽部」という低山登山を目的とした集まりに参加し、山登りを楽しんでいきます。今年の夏は、世界遺産に登録された山である、富士山の登山に12名のシルバーマンバー（平均年齢66歳）で挑戦しました。

1日目は、天候に恵まれ快晴の中、雄大な富士山を前方に、一歩一歩と歩を進め、登っていききました。

2日目は、早朝3時頃に起床し、支度を整え7合目の山小屋で、山の間から登ってくるご来光を拝観することができました。ガイドさんいわく、今シーズン一番の立派な光景だったそうです。岩盤の多い登山道を一歩、頂上を目指して黙々と進んでいき、お昼前頃に最高峰に到達しました。天気も良く、頂上からの展望は素晴らしいも



のでした。全面下方に北アルプス山脈を望め、雄大なパノラマを眺望することができました。8合目の山小屋までの下山道では、富士山名物の砂嵐の洗礼を受け、四苦八苦しましたが、無事に山小屋まで下山することができました。

最終日は、いよいよ5合目までの下山です。朝5時頃に山小屋を出発し、4時間余り下り、9時頃に全員が怪我もなく無事に下山することができました。

月に1回程度、無理のない安全な工程で山登りをしています。山登りに慣れた方から高齢者まで、幅広い世代の方とのコミュニケーションの場にもなっており、和気あいあいとした雰囲気の中メンバーとの親睦を図ることが、老後の活性化につながっています。みなさんも、山登りに挑戦してみませんか？

(嘉麻市岩崎 佐々木 幸男)

社協だよりクイズ



「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で図書券(千円分)、ポストカードセット(4枚組)をそれぞれ1名の方にプレゼントします。

問題

10月19日、夢サイトかほで平成30年度第2層協議体全体会が開かれました。嘉麻市役所地域活性推進課から何の見直しについての話があったでしょうか？

(1)交通安全 (2)交通体系 (3)道路交通法

応募方法

①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、12月31日(必着)までにハガキ、またはEメールにてご応募ください。

送付先

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 嘉麻市社会福祉協議会
E-mail: tiiki@kama.syakyo.com

前号のクイズの答え

(2) 18行政区

平成30年10月現在、市内18の行政区で設置されている地域福祉部は、地域のいろいろな人たちが同じ立場で地域の課題を考え、解決に向けて活動しています。

●応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。
・産業の基本である農業の米作りに、汗を流した碓井小学校の児童に拍手を送りたいです。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

成年後見 Q&A

Q 成年後見登記の申請は、どこにすればよいのですか？

A

成年後見等開始の審判がされたときの登記は、家庭裁判所の裁判所書記官が行います。「変更の登記」と「終了の登記」は、成年後見人等や本人の親族等、一定の利害関係のある方が東京法務局に申請しなければなりません。申請は書留郵便ででき、登記手数料は無料です。





今の私たちにできること 嘉穂総合高校大隈城山校リングプル贈呈式

10月28日(日)、旧嘉穂プール前で行われた一夜城隈城山校生徒会のみなさんから、本会会長の村上へリングプルの贈呈が行われました。

今年も生徒のみなさんが、家族や地域の方に呼びかけて協力してもらい、17kgが集まりました。「自分達でできることからやってみよう」と

始めたこの取組みは、7回目を迎えました。生徒のみなさんにとってはリングプルを集めるのは日課の一つとなり、今では親せきや知人の方も届けてくれるようになったとのこと。すでに来年度に向けてリングプルを集め始めているそうです。生徒たちの思いは、次の新入生にも引き継がれていきます。



黒田官兵衛のキャンドルアート



贈呈式の準備をする生徒会副会長松尾知香さん
まつおともか



生徒会のみなさんと村上会長

ボランティア募集情報

社会福祉法人 嘉穂の里 もちつき交流会 ボランティア募集

社会福祉法人嘉穂の里では、もちつき交流会のボランティアを下記のとおり募集しています。

記

- 目的** 障害者支援施設の利用者様と「餅つき」を通じて地域の皆様と交流を深める。
- 日時** 平成30年12月8日(土)雨天決行
9時～15時予定(短時間、途中参加可)
- 場所** さくら学園 園庭(嘉麻市牛隈1712-7)
- 活動内容** 餅つきや餅丸めのお手伝い、釜戸の火の当番など
- 備考** 動きやすい服装。昼食はさくら学園で用意します。
- 募集締切** 12月3日(月)
- お問い合わせ先** 電話0948-57-2207
FAX0948-57-3366 担当 尾崎

障がい者支援施設 三愛園

障がい者支援施設三愛園では、入居者の話し相手やレクリエーションのお手伝いをしていただける方を下記のとおり募集しています。

記

- 日時** 随時(月～日曜日 9時～17時)
※活動可能な日、時間帯でかまいません。
- 場所** 三愛園(岩崎1373番地2)
- 内容** 入居者の話し相手、レクリエーションのお手伝い
- 備考** 動きやすい服装で、上履きを準備してください。
- お問い合わせ先**
かまボランティア・市民活動センター
0948-42-0751





15歳のコーヒー屋さん

発達障害の

ぼくができることから

ぼくにしかできないことへ



著者 岩野 響さん
出版社 (株)KADOKAWA

この本には、著者と両親、3者の視点から見た著者の人生と、コーヒー屋を営むことになった経緯が書かれています。

両親は、幼少期から夜の寝つきがわるいことや周りの子どもたちが興味を示すものについて、目を向けないことについて、自分たちの育て方が間違っているのではないかと思ひ悩んでいました。アスペルガー症候群との診断を受けた時には、シヨックよりも自分たちのせいでは

なかったとホッとしましたそうです。

恩師の協力もあり小学校は卒業しましたが、中学校に入ってから周りの環境にうまく馴染むことができませんでした。著者は、その時に初めて自分が発達障害であることを知り、受け入れる事ができず、次第に学校に通学することができなくなりました。

父親の「学校に行かなくてもいいよ」との一言で学校に通うことをやめ、家事や自営業である染色の手伝いをしました。その経験の中で、次第に自分の特性を受け入れることができるようになり、自分にしかできないことは何かを考え、コーヒー屋を営むことにしました。

岩野さんは、「学校に行かなくてもいいよ」という父親の一言によつて気持ちが楽になり、新たな視点で自分のことを考えられるようになりました。思ひ悩んでいる人の気持ちに寄り添える人になりたいと思いました。

(やました)

炭 鉱 の 記 憶

山田校区にお住いの藤木孝子さんに、古河炭鉱での生活や子どもの頃の遊びについて教えてもらいました。古河炭鉱の住宅は、西町や東町など町と呼ばれる複数のエリアに分かれており、病院や図書館、プールなどがあり、公民館では映画や舞台などの上映もありました。

幼稚園に入園する前は、古河炭鉱の事務所で働く叔母について行き、鉱内に下りる人達を「いつてらつしゃい」と見送り、また、真つ黒になつて戻つて来られたら「タヌキのおじちゃんお帰り」と、笑顔で迎えました。時には、トロツコに乗せてもらつたり遊んでもらつたりしました。過酷な環境で働く方々にとつて、ホツとする時間だつたことでしょう。

小学校に上がる頃からは、缶けりやはないちもんめ、テシアテ(廃棄された瓦を丸く削つてコマを作り、2チームに分かれて交互に当てる遊び)やゴムすくい(土の中に棒を差し込みゴムを救う遊び)などをして遊びました。また、お寺で説法を聞き、おにぎりやお菓子をもろうのも楽しみでした。

集会所では、女性部長さんから針仕事を習いました。幼い頃に母親を亡くし、仕事で忙しい祖母に育てられた藤木さんにとつて、生きていくための知恵や常識は、地域の人たちから教えてもらいました。今でも、地域の人たちとの繋がりに感謝しているそうです。



山田ふれあいハウスからのお知らせ



平成30年10月13日(土)、山田ふれあいハウス囲碁大会に市内外から12名の方が参加され、熱戦が繰り広げられました。

会場には、碁石を打つ音が響き、みなさんの緊張感が伝わってきました。

初めて参加した方は、「15年ぶりに囲碁をしました。大会では負けてしまいましたが、また、始めてみようかと思います」と話されました。

優勝は田中征幸さん(真ん中)、準優勝は瀬戸渉さん(左側)、第三位は坂本博継さん(右側)でした。

優勝
田中征幸さん



準優勝
瀬戸 渉さん

第三位
坂本博継さん

連絡・問い合わせ先／山田ふれあいハウス
嘉麻市上山田502番地6 TEL 0948-52-1847

年末年始の期間は、休館いたします。
平成30年12月28日(金)から平成31年1月4日(金)まで

心配ごと相談

と き：1月9日(水)
13:00～15:00
と き：1月23日(水)
13:00～15:00

※心配ごと相談の会場は
稲築住民センターです。



法律相談

と き：1月17日(木)
13:00～16:00
ところ：稲築住民センター

※法律相談は予約が必要です。
先着順となっておりますので、
お早目にお申し込みください。

1月の総合相談



平素より地域の方々にご利用いただき、感謝申し上げます。
今後とも地域に根付いた葬祭場として、微力ながらもお役に立てますよう、社員一同知識の向上に精進して参ります。
葬儀についてご不明な点などございましたら、お気軽にご来館、お問い合わせください。



嘉麻市平1133
☎(0948) 42-4420

指定葬祭場紹介
おかむら葬祭

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、おかむら葬祭岡村会館を含め、市内に7ヶ所あります。

飛鳥会館 南斎場	☎42-4241	セレモニーホールおおつか	☎52-1212
きど葬祭やまさ碓井斎場	☎62-4499	かほ葬祭 あじさい会館	☎62-5566
いすや会館	☎57-4444	善光会館 稲築会場	☎83-5000

みなさまの善意、心より厚く、
お礼申し上げます。

香典返し・寄附

10月1日～10月31日受付分

◆香典返し

【西岩崎】

親族 永光 祐子 様
故 永光 克好 様

【平第二】

親族 陶山 茂 様
故 陶山 ツタエ 様

【藤見台】

親族 添田 光吉 様
故 添田 タケノ 様

【枝坂】

親族 石橋 橋 様
故 石橋 橋 様

【尾浦第一】

親族 平田 一藤 様
故 平田 スエ子 様

【山下】

親族 梶原 一美 様
故 梶原 よ志子 様

【下益】

親族 大里 吉比古 様
故 大里 光子 様

【三日町】

親族 萩尾 英子 様
故 萩尾 幸子 様

【西野】

親族 西田 増穂 様
故 西田 ミサ子 様

【桑野】

親族 柿坂 ツヤ子 様
故 柿坂 太吉 様

【宮吉】

親族 栗野 艶子 様
故 栗野 千子 様

◆一般寄附

【市外】

嘉穂の名水愛好者一同 様

◆物品寄附

【子育てリユース】

漆生本村 松熊 梨枝 様
西岩崎 渡邊 恵 様
鴨生第一 我喜屋真由美 様
漆生東 坂本 真一 様
飯田 佐藤 麻美 様
中山田下 明見保育園 様
飯塚市 廣瀬 陽子 様
飯塚市 滝沢 千鶴 様
飯塚市 霜笑 様
別府市 島津美由紀 様

【アルミ缶】

【リングプル】

あなたの会費が、
社協の地域活動を
支えています

会員として、次の方々に
ご加入いただきました。

(敬称を省略させていただきます。)
(順不同で掲載しています。)

10月1日～10月31日受付分

〈漆生中央〉田中茶舗(二口)

〈口春〉永川義彦、日野勝也、
井桁徹豊、下田政廣、石井敏
晴、井出勇、吉永敦子、上野
英昭、永富敬太、井出一好、永
富潔和、橋本武彦、高木洋、
池野三枝子、原中将司、縄手
良文

〈鴨生第二〉鴨生第二行政区
(二十口)

〈辻中籠〉小林喜之
〈熊ヶ畑第二〉広瀬美雪、山田
正昭、山田芳博、平嶋誠一、上
野富美子、石橋裕子、石橋和
稔、広瀬正明、大里久美子、
大里九州男

〈古吉〉木村豊次、田中和昭、
藤田真吾、松岡フジエ、定政
一、森本月夫、松向カツエ、飯
田恒喜、久恒清、青木政親、
浅野須恵美

〈上臼井上〉岩井久子

口春 高木久美子 様
山野第二 古賀 絹江 様
鴨生第一 國武美千代 様
飯田 津留 文子 様
上臼井上 匿名 様
尾浦第一 筒丸 一夫 様
下宮 三好 邦央 様
木城 樋口えり子 様
大橋 姉川 亮太 様
下益 匿名 様
福岡県立嘉穂総合高等学校
嘉麻市立大隈城山校 様
石ヶ崎シニアクラブ渡辺 様
匿名 様
鴨生第二ふれあい
いきいきサロン 様
夢サイトかほ
福岡レイクサイド
カントリークラブ 様
飯田 津留 文子 様
六四田 松田 敏雄 様
熊ヶ畑第二 山本ヨシ子 様
三菱第二 中山まき子 様
誠心園 様
嘉麻市福祉事務所
教育ナビゲーション(株) 様

漆生本村 匿名 様
漆生本村 松熊 涼太 様
漆生本村 松熊 彩香 様
漆生南部 岩田 勇治 様
漆生南部 市原登志彦 様
漆生南部 西岡 聖 様
漆生南部 西田 幸子 様
口春 高木久美子 様
口春 篠崎 哲郎 様
口春 古賀 絹江 様
山野第二 花村 誠市 様
鴨生第一 上田 歌子 様
枝坂 松田 敏雄 様
六四田 匿名 様
下宮 ライブハウス
おおつか 様
百々谷 日野 和義 様
神幸 松岡 敦子 様
天神 愚童の庵 様
猪之鼻 菊池 春政 様
猪之鼻 江藤ヒサ子 様
上山 岡崎 和美 様
下牛隈 ダスキン嘉穂 様
九郎原 匿名 様
石ヶ崎シニアクラブ渡辺 様
石ヶ崎シニアクラブ楠 様
小西モーターズ 様
鴨生第一行政区 様
鴨生第二ふれあい
いきいきサロン 様

飯田 津留 文子 様

飯田 津留 文子 様

飯田 津留 文子 様

飯田 津留 文子 様

ふるさとへの
手紙
No.154



福岡市中央区在住
まつお しずか
松尾 静さん
旧嘉穂町千手出身



いつも心に故郷が

私は昭和55年に生まれ、38歳になりました。仕事がつっかけて一人暮らしを始め、嘉穂町を離れて13年が経ちます。現在は、小さなネイルサロンと美容専門学校の非常勤講師、そして2人の子どもの子育てをしながら、めまぐるしい毎日を過ごしています。専門学校では、時々同郷だという生徒がおり、同郷という合言葉のような、キーワードで世代を超え、話が盛り上がり一気に距離感が縮まり、楽しくお仕事をしています。

やネットの世界から離れ、1日の家のコンロではなく、火をおこして、焚き火をしながら自然を楽しんでいます。小さい頃に、おばあちゃんや裏の庭で枯葉をかき集めて焼き芋をしたことなど思い出しながら、毎日感じていた、緑や赤、黄色。自然の色を当たり前のように見ていたこと、体験していたことが当たり前じゃなかったんだなど感じます。

そして、何よりの私の財産であり力の源は、「次はいつかえってくるん？」と、待ってくれる家族や友達がいること。大切な人達と気兼ねなくおしゃべりをする時間は、私の楽しみであり、リセットできる時間です。幼少期を嘉穂町で過ごした経験、大切な仲間と過ごした時間、苦い思い出、楽しい思い出の中の全てが糧となり、今の私の基盤となっています。

歳とともに、故郷の父母を思い、離れて暮らすことに日に日に故郷を思う気持ちが強くなってきました。こんな無力な私ですが、いつか故郷に恩返ししたいと、厚かましくも思うものです。

いつまでも美しく素晴らしい故郷が私の誇りです。

ふるさとへの手紙
募集

ふるさとへの想いを、市外や県外で暮らしている嘉麻市出身の方に、綴っていただくコーナーです。嘉麻市で過ごした思い出や嘉麻市に帰省した際に懐かしく感じたことを寄稿していただける方を募集しています。

「昔のことを振り返る良い機会になった」「広報紙を読んだ旧友から、久しぶりの連絡があったよ」と嬉しい声も寄せられています。書いてみようと思われる方、また寄稿できる方をご紹介いただける方は、ぜひご連絡ください。

●お問い合わせ先

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751



編集後記



(おがわ)

炭鉱の記憶では、古河炭鉱の様子や子どもの頃の遊びを教えてくださいました。「たぬきのおじちゃん」と、子どもならではのかわいらしい表現に、思わずほっこりとした気持ちになりました。



(ふじい)

10年以上続いている琴平ヨガサークルで、地域のみなさんと一緒にヨガを体験しました。体を動かすうちに硬かった体が軽くなり、心も軽くなったように感じました。



(いとう)

地域の方からのお便りをきっかけに、郷土芸能部取材しました。迫力ある演奏を、もっと多くの方に聴いてもらえる機会が増えればいいなと思います。



(うちだ)

協議体の全体会では、「困っていると言える関係になることが大事」という話が印象に残りました。学んだことをヒントに、支え合う仕組みづくりをみなさんと考えていきたいと思っています。



(やました)

今月の一冊では、発達障害と診断された著者が、家族との生活の中で自分にしかできないことを見つけたきっかけを紹介しました。「寄り添い」について改めて考えさせられました。



(やひろ)

コラム交差点では、富士山登山に挑戦したエピソードを寄稿してもらいました。共に汗を流し美しい景色を共有した経験や仲間との絆に思いが深まる様子を思い描きました。